

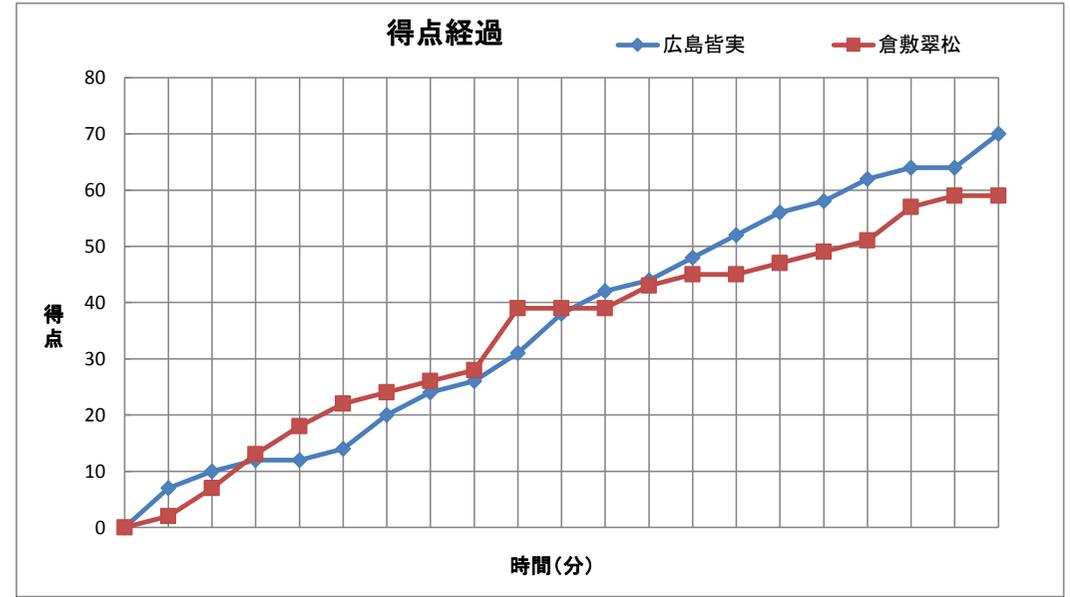


第66回中国高等学校バスケットボール選手権大会

0

個人トータル表

女子		令和4年6月19日		9:00 開始									
準決勝		広島県立総合体育館グリーンアリーナ		A									
◎ 広島皆実		70		59 倉敷翠松									
(広島県)				(岡山県)									
		14 1st 22											
		24 2nd 17											
		18 3rd 8											
		14 4th 12											
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	田邊 観愛	3	1	0	0	0	* 4	野瀬 紗奈	13	1	5	0	3
5	森田 花菜	-	-	-	-	-	5	丸山 優香	0	0	0	0	0
* 6	三次 真歩	19	1	7	2	0	* 6	土家 梨愛	16	0	7	2	3
* 7	土屋 さくら	0	0	0	0	2	* 7	伏見 朋香	3	1	0	0	1
8	林 陽菜実	4	0	2	0	3	* 8	清水 咲菜	2	0	1	0	4
9	藤田 涼音	-	-	-	-	-	9	村田 ひな	-	-	-	-	-
10	川口 空夏	-	-	-	-	-	10	島尾 七彩	-	-	-	-	-
11	平田 彩光	14	2	4	0	1	11	平尾 乃々子	-	-	-	-	-
* 12	大上 粹奈	12	0	5	2	4	12	原田 涼風	-	-	-	-	-
13	西名 真涉	-	-	-	-	-	13	窪 蕤 理紗	-	-	-	-	-
* 14	松前 結奈	7	0	3	1	2	14	横路 由奈	-	-	-	-	-
15	小西 史夏	11	1	2	4	1	* 15	アイエビドン グレイス	25	0	10	5	4
16	藤川 凜里	-	-	-	-	-	16	杉原 莓音	-	-	-	-	-
17	橋本 幸々路	-	-	-	-	-	17	廣川 絢音	-	-	-	-	-
18	小森 優菜	-	-	-	-	-	18	鈴木 柑菜	-	-	-	-	-
コーチ	村井 幸太郎					0	コーチ	白石 理賀					0
Aコーチ	福田 理恵						Aコーチ	田上 善朗					
合計		70	5	23	9	13	合計		59	2	23	7	15
主審: 豊田康平													
副審: 有澤優子													
副審: 野口祥貴													



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	1:56	27:46	38:32	:	:	:
TeamB	15:44	39:28	:	:	:	:

〔戦評〕 スタート 皆実4・6・7・12・14 翠松4・6・7・8・15
 1Q開始、皆実12パスからの速攻で得点。対して翠松4のポストプレイで得点。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。皆実6番のジャンパー、鋭いドライブからバスケットカウントで翠松タイムアウト。タイムアウト後は翠松の4番の3P、15番コーナのジャンパーが決まり落ち着きを取り戻す。翠松15番、6番のインサイドプレーで着実に得点し、皆実を引き離す。14対22で翠松8点リードで1Q終了。
 2Q皆実インサイドに対するディフェンスのプレッシャーを強め簡単に得点を許さない。11番の3P、15番のドライブで同点に追いつくが、翠松6番のジャンパーで追撃を許さない。翠松はインサイド15番にボールを集めファウルを誘いフリースローで着実に加点。またインサイドからの合わせでバランス良く得点を重ねる。対する皆実15番11番の3P、ファストブレイクで得点を詰め、38対39で翠松1点リードで前半終了。
 3Q後半皆実6番のドライブからファウルを誘いフリースローで同点、さらに6番の3Pで逆転に成功。翠松は15番にボールを集め、得点を詰めるが、皆実6番、14番のドライブで少しずつリードを広げる。皆実11番のドライブで7点リードしたところで翠松タイムアウト。皆実の厳しいディフェンスで翠松得点を取ることができない。タイムアウト後も皆実の勢いは止まらず、皆実14番の得点で56対47、皆実が9点リードし3Q終了。
 4Q最終クォーターに入っても皆実の激しいディフェンスは緩まない。相手のミスからのファストブレイク、ジャンパーで皆実は得点を離しにかかる。しかし翠松は15番にボールを集め、得点を重ね必死に食い下がる。残り3分皆実7点リードのところで翠松タイムアウト。タイムアウト終了後、翠松15番のインサイドプレーで5点差に縮める。その後両チーム厳しいディフェンスで得点が動かない。残り1分28秒、翠松のファウルで皆実14番がフリースローを得たところで翠松最後のタイムアウト。皆実14番がフリースローを1本決め、さらに激しいディフェンスから相手のミスを誘い、6番のドライブからの得点で勝負あり。
 両者とも気持ちのこもったプレーで、ハイレベルなゲームを展開し、会場を魅了した。広島皆実・倉敷翠松の全国での活躍を期待したい。

戦評: 小松広道 記録: